

## 第56回愛知県公立大学法人評価委員会会議録

### 1 日 時

令和3年8月18日（水）午後1時50分から午後3時まで

### 2 場 所

愛知県自治センター6階 第603会議室

### 3 出席者

委員 5人

説明のために出席した者 4人

### 4 傍聴者

0人

### 5 議 題

2020年度業務実績に関する評価について

### 6 議事概要

【2020年度業務実績に関する評価について】

- 原案について、一部修正をして評価結果として決定した。

## 【質疑】

2020年度業務実績に関する評価について

### ○ 委員

2020年度業務実績に関する評価書案の記載内容を確認していきます。

評価結果（案）の記載内容について、何かご意見、異議等ございますでしょうか。

### ○ 委員

4ページの下から2行目、3行目のところの、「感染症対策を行った上での取組の継続やVR等の新たな手法による取組を行う等、多くの取組を」と、「取組」が3つ重なっております。言葉が厳密に定義されていて、重複を厭わずに使わなければならないということはあるかと思いますが、例えば「感染症対策を行った上で教育活動を継続し、VR等の新たな手法により成果を発表するなど、多くの取組を」としてはいかがでしょうか。感染症対策は主に教育活動に関してであり、VRについては特に芸術大学の、芸大の場合は単純な研究とはちょっと違いますけれど、成果発表の手法の工夫ということでもありますので、前者を「教育活動」、後者を「成果の発表」として、まとめて「取組」ということではいかがかと思えます。

先程申しました通り言葉の定義を厳密に使わなければいけませんので、このような言い換えの必要はないということであれば、取り下げます。

### ○ 委員

ご意見ありがとうございます。委員から資料1の4ページの最後の段落につきまして、書きぶりについてご提案をいただきました。下から3行目ですけれども、「感染症対策を行った上での教育活動の継続や、VR等の新たな手法による成果発表を行うなど、多くの取組を積み上げており」とすれば、「取組」が3回出てくるのを避けることができるというご意見です。いかがでしょうか。

### ○ 事務局

修正させていただきます。

### ○ 委員

ほかにいかがでしょうか。

○ 委員

第54回評価委員会の資料4「2020年度における業務実績の概要」のタイトルで、例えば項番8番だと「教育研究組織のあり方の検証及び必要に応じた見直し」は、今回の資料1の3ページ一番上にあるタイトルと同じです。しかし項番18番のタイトルは、第54回の資料4の研究のところにありますが、「学部・研究科横断型の学際的研究～」の「学際的」が今回の資料1では抜けています。さらに芸術大学項番34番については、第54回の資料4では「～老朽化施設の整備促進」のところは今回の資料1では抜けています。なぜ第54回と今回で変わっているのでしょうか。委員会ではタイトルも入れた形で承認になっていると思うのですが。変える必要はないと思います。

○ 事務局

こちらにつきましては、スペースの問題もありまして、中期計画の内容を要約して記載しております。要約する際に、本来なら削るべきでない部分まで削ってしまった部分を今ご指摘いただきましたので、ご指摘いただいた部分について、第54回評価委員会の資料4「2020年度における業務実績の概要」のタイトルに合わせて修正いたします。

○ 委員

変更されたのは何か意図があったのですか。

○ 事務局

スペースの問題上、一部を要約する形でタイトルを作成しました。しかし、今回＜特筆すべき（高く評価した）項目＞のまとめ方を大学ごとに変更した関係でスペースにも余裕ができておりますので、ご指摘通り修正いたします。

○ 委員

若干意味が変わってきてしまうこともありますので、第54回評価委員会の資料における表記そのままにさせていただくのがよいと思います。

ほかにご指摘等ありますでしょうか。

○ 委員

同じく文章で抜けてしまっていて意味が変わっている箇所があるのですが、県立大学の項番18の③、資料1の3ページです。「看護学部教員、他大学、県と連携し」とあるのですが、資料2の事業実績報告書・計画の実施状況等欄では「他大学教員、県職員と連携し」となっており、直していただきたいと思えます。

○ 事務局

かしこまりました。そのように修正させていただきます。

○ 委員

ご指摘ありがとうございます。ほかにご指摘等ございますでしょうか。

(意見なし)

私からも少し質問させていただきたいのですが、前に資料をいただいた時にも少し気になっていたのですけれど、資料1の5ページ以降、項目別評価の、1の「業務運営の改善及び効率化に関する項目」、2の「財務内容の改善に関する項目」については、「※重点的計画とされている項目は、項目数を2倍にカウントする」ことになっており、実際には合計が9ですけれども、重点的計画とされている3項目を2倍にすることにより12になっていると思います。

しかし、5の「教育研究等の質の向上に関する項目」については、「※( )内は重点的計画数」とは言っていますが、「2倍にカウントする」とはここでは言っていないのですが、いかがでしょうか。

○ 委員

私も指摘しようと思っていました。9ページに参考表があるのですが、例えば「年度計画を十分に実施している」は県大89.7%、芸大87.5%、それから「年度計画を上回って実施している」は県大10.3%、芸大12.5%と記載されています。本当は県大の10.3%は10.5%であり、芸大の12.5%は15.4%のはずです。

なぜかという、トータルの項目数が芸大は16なので、16分の14とカウントすると87.5%、16分の2とすると12.5%ですが、実際は委員がおっしゃったとおり、16ではなく26として26分の4として、15.4%にしなければならぬのです。

2年前に重点的計画数を2倍にすることが決まって、昨年同じように指摘しましたが直っていませんでした。今年も同じように直っていないので、修正をお願いしたいと思います。

○ 事務局

かしこまりました。9ページの表につきまして、重点的計画数を2倍にカウントするということを考慮したパーセンテージに修正します。

○ 委員

評価結果の概要（案）の項目別評価の表の⑤、「教育研究等の質の向上に関する目標」のところは、Ⅲが56、Ⅳが8になっています。これは重点的計画数をすでに2倍にしています。ところが資料1はそうはなっていないので、修正していただければと思います。

○ 委員

ほかにご意見等ございますでしょうか。

（意見なし）

特に13ページ、事前にご送付いただきました資料と、今回の資料1では書きぶりが変わっておりますので、そこについてはもう一度、両方突き合わせてご確認いただければと思います。最後のところですが、前回の議論で、法人の自己点検は「年度計画を上回って実施している」だけども、評価委員会の判断は「年度計画を十分に実施している」といたしました。

事前にお送りいただいた文では、「しかし、2020年度のアクセス数が150万件以上となったのは、新型コロナウイルス感染症対策が注目されたという事情もあり、広報体制の強化やWebサイトのリニューアルの成果として指標を上回ったとは言えない。」という説明になっていたわけですが、この前のところの「第三期計画最終年度に150万件以上という指標を前倒しで達成したことは評価できる。」という箇所と、矛盾が生じかねないことから、書きぶりを変更していただきまして、「年度計画を踏まえた広報体制の強化やWebサイトのリニューアルの成果とまでは言えない。」としていただくこととしますが、いかがでしょうか。

前回の議論で、「最終年度に150万件以上」が中期計画の指標なので、ここで「年度計画を上回って実施している」としてしまうと、来年からマイナス評価になりうるということも勘案いたしまして、「年度計画を十分に実施している」といたしました。よろしいでしょうか。

（異議なし）

資料2の書き方についても、網掛けで書いていただいているように、「年度計画を上回って実施している」とした項番18に関して、整理していただきました。3つの共同研究をそれぞれ採択したと記載し、「合わせて3件の共同研究を支援した」という形になっています。よろしいでしょうか。

(意見なし)

確認させていただきますと、全体評価が、まず資料1の2ページ、1(1)「存在感と信頼感のある「地域の重要な教育研究機関として活躍する大学」を目指し、自らの強みや特色を生かした機能強化を図り、地域を支える人材の育成、地域との連携や地域への貢献を推進するために、自治体、他大学、産業界などとの連携の一層の強化に取り組むという中期目標の方向性に沿って中期計画を順調に実施していると認められる。」という評価です。その後判断理由がありまして、すべてA評価ということで、3ページで「特筆すべき項目」を書いております。最初に県立大学に関して、項番8、18、24を説明していただいています。次に、4ページの芸術大学に関しては、項番34、39について説明していただいています。見出しを修正していただくことと、文言で省略してしまっているところの修正を加え、4ページの2「評価に当たっての意見、指摘等」の箇所が一番最後の段落において、「取組」という言葉が3回出てきていますけれども、これにつきましては先ほど委員にご提案いただいたように修正することをお願いします。

次に5ページ、項目別評価です。「1 業務運営の改善及び効率化に関する項目」については、(1)評価結果、(2)業務達成に向けての取組、進捗状況、(3)評価に当たっての意見、指摘等、そして6ページ、「2 財務内容の改善に関する項目」、(1)評価結果、(2)業務達成に向けての取組、進捗状況、(3)評価に当たっての意見、指摘等。次が7ページ、「3 教育及び研究並びに組織及び運営に対する自己点検・評価及び情報の提供に関する項目」です。次に、8ページでは、「4 その他業務運営に関する重要項目」について、同じフォーマットで記載されています。評価結果、業務達成に向けての取組、進捗状況、評価に当たっての意見、指摘等、となります。

次が先ほど指摘いただきました「5 教育研究等の質の向上に関する項目」で、事業の外形的・客観的な進捗状況について、各大学についていずれも順調に実施していることを確認する、というものです。この下の表については、数値を「重点的計画数を2倍にする」ということを踏まえて載せていただくようお願いいたします。

10ページ(2)各大学の教育研究等の質の向上に関する進捗状況の評価として、こちらの小項目進捗状況表についても数字を直していただく必要がありますね。

○ 委員

右側のパーセントが違います。

○ 委員

直していただくようお願いします。

○ 委員

今10ページに入ってきたので、項番18のところですけど、確か前回委員会で「COVID-19」ではない名称を調べておきますと事務局がおっしゃっていたかと思います。他のところは「新型コロナウイルス感染症」に統一されているのだなと思って見ていたのですが、3ページの項番18の①の「」の中の「COVID-19」については題目なので変えられないのは承知しているのですが、その後の「～日本での生活、就労との経験や～」のところの「COVID-19」は、資料2の一つ目の「・」に「コロナ禍の影響の調査」という表現がありますし、「新型コロナウイルス感染症」にしなくてよいのかなという確認です。

○ 委員

資料2の研究のタイトル「COVID-19による外国籍住民の生活危機と対策をめぐる基礎研究」は変えられないと思いますが、その前にこの研究を形容するフレーズとして「コロナ禍の影響を調査した」とありますので、「コロナ禍」の箇所はほかの文言と統一したほうが良いということですね。この文言をご修正いただけますか。

○ 事務局

かしこまりました。委員のおっしゃるとおり、研究のタイトルから「COVID-19」という表現を使わせていただきましたが、資料2にありますように法人の「計画の実施状況等」でも「コロナ禍の影響を調査した」という書き方がされているということもありますので、ほかに合わせて「新型コロナウイルス感染症」と変更いたします。

○ 委員

ほかにお気づきの点ありますでしょうか。

○ 委員

3ページと10ページを合わせて変更していただけますか。

○ 事務局

かしこまりました。

○ 委員

ほかにはよろしいでしょうか。

○ 委員

先程指摘したタイトルの件は、10ページ以降の部分もすべてご訂正いただけますか。

○ 事務局

はい。「2020年度における業務実績の概要」を確認し、修正いたします。

○ 委員

12ページの芸術大学の小項目進捗状況の表も、見直して数値を修正していただくようお願いいたします。その後の「イ 業務達成に向けての取組、進捗状況」の項番34、39のタイトルも確認してご修正いただけますでしょうか。

13ページの項番45も同様をお願いします。

ほかにご指摘ございますでしょうか。

(意見なし)

文言の修正箇所については、修正後に確認の機会をいただけるとありがたいです。

○ 事務局

かしこまりました。早急に修正しまして、メールにて送付いたします。

○ 委員

現在議論になったところは全てご対応いただけたと思いますが、ほかにご指摘ございますでしょうか。

○ 委員

評価結果の概要(案)の位置づけがよく分からないのですが、この右下の「評価委員会が高く評価した項目」の各項番のタイトルも、同じように修正いただきたいのですが。

○ 事務局

かしこまりました。



○ 委員

評価結果の概要（案）についての審議は例年していなかったと思うのですが、これはどこに出る資料でしょうか。

○ 事務局

この概要は本日の議論を踏まえたまとめでして、最終的には県民文化局長のところでは結果の説明に使用した後、公表するものでございます。

○ 委員

この概要については、委員会としては責任を持つ必要はないということでしょうか。

○ 事務局

参考までにお付けしているものです。

当然本日の結果を反映しますので、本日ご指摘いただいた点についてはこちらの概要でも修正させていただきます。

○ 委員

概要（案）の全体評価のところは、資料1の全体評価の「2 評価に当たっての意見、指摘等」が入るという理解でよろしいでしょうか。

○ 委員

そこは資料1の2ページの「1（1）評価結果」と全く同じです。

○ 委員

前回の評価委員会で全体評価の文言をいろいろとご修正いただくようお願いしたと思います。「2020年度は目標達成に向けた様々な取組を着実に進め、中期計画をおおむね順調に実施していることは評価できる。愛知県立大学では従来とは大きく異なる研究所新体制の在り方を検討・決定し、開かれた」この「開かれた」という表現を直していただき、「研究を行う体制を整えたこと、愛知県立芸術大学では万全の感染防止対策をとり、早期に対面授業再開を行ったことを特に評価する。第三期中期目標期間の2年目においても、第二期中期目標期間と同様に中期目標の達成に向け、多くの取組を積み上げており、目標の達成及び更なる向上を期待する。」というのが全体評価だったと思いますが、資料1のどこに記載されていますか。

○ 事務局

資料1の4ページでございます。

○ 事務局

全体評価の「評価に当たっての意見、指摘等」にあたりまして、こちらに前回委員会でいただいたご意見を反映させたものを記載させていただいております。

○ 委員

概要の「評価委員会が高く評価した項目」「評価委員会が遅れているとした項目」の下に今の「意見、指摘等」の欄があるとよいと思いますが。

○ 委員

資料1の2ページの「1（1）評価結果」は、前回委員会には出てこなかった文言ですか。

○ 事務局

はい。前回評価委員会ではお出ししていません。

中期計画を順調に実施していると認められる場合は、中期目標の内容を入れながら例年このような形で記載させていただいております。

○ 委員

前年度の評価結果と全く同じ文章ですね。

○ 委員

毎年同じでよいのでしょうか。

○ 委員

今のお話を聞くと、「評価に当たっての意見、指摘等」が委員会としての全体評価に当たるのではないかと思います。資料1の2ページの「1（1）評価結果」の下にそれを持ってきていただいて、委員会の意見をもっと前に出したほうが良いかと思いますが。

○ 委員

4ページの「評価に当たっての意見、指摘等」が前回の委員会で評価委員会の意見として確認されたと思うのですが、それとこの2ページの「1（1）評価結

果」との関係はどのようなのでしょうか。

○ 事務局

2ページの「1（1）評価結果」は定型的な文でございまして、おっしゃられたとおり変わっておりません。全体評価としては毎年この書きぶりです。4ページの「評価に当たっての意見、指摘等」は毎年ご審議いただいた生の意見を記載させていただいております。

ご指摘のとおり「1（1）評価結果」下に持っていくことも可能です。

○ 委員

概要の項目別評価の表を小さくするなど工夫して、なんとか評価委員会の意見を入れていただきたいと思います。高く評価した項目、遅れているとした項目、評価委員会の意見が並んでいないといけないと思います。

○ 事務局

レイアウトを変えることはできますので、ご指摘のとおり直させていただきます。

○ 委員

概要の中央に「全体評価」が記載されており、これが定型文だと、毎年きちんとやっている評価がここには反映されていないように見えるのではないかと、う懸念が委員の皆さんにあるのではないかと思います。

中央の「全体評価」が定型文で変えられないのであれば、概要の右側の「評価委員会が高く評価した項目」「評価委員会が遅れているとした項目」の下部に評価委員会の「評価に当たっての意見、指摘等」を入れるべきではないかということです。

○ 委員

概要だけでなく、資料1のほうも本当は同様にすべきではないかと。

○ 委員

委員からご指摘いただいたように、資料1の2ページの「1（1）評価結果」の記載が毎年同じというのはいかがなものかと思うのですが、それでも。

○ 委員

今年なりの評価結果をもう少し入れてもいいと思います。

○ 事務局

もう一度過去の経緯を調べますけれども、資料1、4ページの「2 評価に当たっての意見、指摘等」の文言をこの2ページの「1（1）評価結果」の前文に持ってくるような理解でよろしいでしょうか。毎年定型文ではどうも、というご意見であるのであれば、4ページに毎年の生のご意見が記載されていますので。

ただ、今まで何年かやってきまして、こういった形にした経緯をもう一度調べます。過去の委員の皆様のご意見でこのようになったのかもしれないので。

こちらは議会に提出しておりますので、できるだけ簡素化するという意見も過去にあったと思います。

調べて特に問題が無いということであれば4ページの書きぶりを2ページの「1（1）評価結果」の前文に持って来るということも可能だと思います。

○ 委員

全部は長いと思いますので、もし可能であれば、一部だけでも、例えば「第三期中期計画の2年目となる本年度では、目標達成に向けた取組を続け」のような、若干今年的位置づけが見えるような形になるよう工夫していただけると良いかと思います。折角我々委員が熱心に評価活動を行っているのに、形骸化しているような捉え方をされるのは非常に残念です。

ただ、2ページ目の下の「イ 評価に当たって考慮した項目」に「中期目標の方向性に沿って実施された2020年度取組について」と「2020年度」がところどころに出てきていますので、それでいいのかどうか。まずは過去の経緯をお調べいただきまして、確認させていただきたいと思います。

○ 委員

あとは、愛知県立大学以外の、他県の県立大学など他大学でも評価が行われていると思いますので、それも取り寄せて調べていただいて、よい例があればそれを採用するのもよいのではないのでしょうか。

○ 委員

それでよろしいでしょうか。

○ 委員

今年はこれで問題ないと思います。来年から変えていただければ。今年急に変わるとなると、もう一度評価委員会を開かなければならなくなりますから。

○ 委員

評価の意味は大学の設置者によって異なりますが、公立大学は議会に報告をしなければなりません。評価委員会の役割として最も重要なのは「1（1）評価結果」の中期計画を順調に実施しているかいないか評価するところで、大学側も真摯に取り組んで報告書を出し、評価委員会も時間をかけて丁寧に審議していますが、議会にとっても自らが認めた予算と中期計画が遵守されていることが最も重要です。このため、毎回同じ形になるとしても私は理解できます。

国立大学の場合ですと、学位授与機構を通じて最終的には文科省との対応ということになるので、この場合とはちょっと違ってくるのではないのでしょうか。私立大学の場合ですと認証評価委員会を経てステークホルダーたる学生、保護者、受験生に公表することに意味があるわけです。このように公立大学とは意味合いはかなり違ってまいりますので、そこを踏まえて考えなければならないと思います。

いずれにしましても、委員がおっしゃるように過去の経緯、他大学の様子を踏まえて、これで適切であるということであれば踏襲しますし、より見直したほうが良い事例が他大学、他県等であるのであればそれをみならっていけばよいということではないかなと思います。

○ 委員

貴重なご指摘ありがとうございます。それでは議会に提出するという目的に照らして、他の公立大学はどうなっているかということもお調べいただき、今、委員からは今年度はもうこのままでよいとのご提案がございましたので、また他大学の状況や、県議会との関係も踏まえまして、この定型文を変える必要があるのであれば来年度から反映させていただくということによろしいでしょうか。

○ 委員

委員のご意見を聞いてなるほどと思いました。確かに議会に出すとなると評価結果の書きぶりがこうなるのは理解できます。

○ 委員

ありがとうございます。それでは、ほかにご指摘等ございますでしょうか。

（意見なし）

ほかにご意見が無いようでしたら、この評価書案をもちまして、評価委員会の評価としたいと思いますがよろしいでしょうか。

(意見なし)

ありがとうございます。それでは、本日決定した評価結果は法人へ通知するとともに、知事へ報告いたします。

文言等、先程ご指摘いただきました件につきましてはメールで送付いただくということでよろしく願いいたします。

最終的には、私と事務局にご一任いただきますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 委員

それでは本日予定しておりました議題は以上となります。長時間にわたりました、委員会の円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。

以上

会議録署名人 .....

会議録署名人 .....